

日本サービス・ラーニング・ネットワークが目指すもの

2019年5月18日

日本サービス・ラーニング・ネットワーク（Japan Service-Learning Network）はサービス・ラーニングに関わる実践者・研究者の全国的なネットワーク形成のために2014年に設立されました。

サービス・ラーニングは、地域貢献や地域活性化等の社会参加の経験を通して、人間的成長や社会的視野の拡大を目指す学習であり、持続可能な市民社会の担い手の育成に貢献することをねらいとしたものです。

1960年代にアメリカで発祥したサービス・ラーニングは、現在では世界的規模で学校教育・高等教育に広がっています。日本ではアクティブラーニングの具体的手法として注目され、大学においてはサービス・ラーニングを用いた授業が教養教育や学部の専門科目に配置されるとともに、初等・中等教育における実践・研究でも展開されています。

少子高齢化、人々の孤立や格差等の解決困難な課題が山積する日本において、異なる立場や価値観の人と協働しながら持続可能な社会のあり方を探求することは、今日の社会的要請であり、未来を拓く教育として重要です。サービス・ラーニングは、現代社会に対応した教育であり、地域社会におけるさまざまなつながりを再構築していくことを目指すものです。

私たちは、教育機関と社会の往還による知と経験、理論と実践との再統合を進めるサービス・ラーニングの広がり発展を目指して、日本サービス・ラーニング・ネットワークを設立いたしました。

日本サービス・ラーニング・ネットワークは以下のような活動を進めていきます。これらに賛同する方々のネットワーキング参加、諸活動への積極的な参画を歓迎いたします。

- (1) サービス・ラーニングに関心のある全ての方々を対象に、実践・研究の交流の場として「サービス・ラーニング全国フォーラム」を年に一度開催します。
- (2) サービス・ラーニングを実践している教職員や地域パートナー等が、その経験や知見を共有するための学習会、ワークショップ、研究会等の学び合いと相互研鑽の場を提供します。
- (3) 学習が深化し、地域と教育機関のパートナーシップが向上するような指導者を育成するための活動を進めます。
- (4) 未来を拓く教育としてのサービス・ラーニングが促進されるための教育機関をはじめとしたさまざまなステイクホルダーへの政策的支援をはじめとした普及・啓発活動をおこないます。
- (5) サービス・ラーニングを広く社会において発展させるために、関連する国内外の機関や人々の連携など、様々な事業を実施します。